


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年 8 月 12日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

|   |                 |      |    |  |
|---|-----------------|------|----|--|
| 受付番号  | 第2号             | 質問議員 | 1番 | 瀬戸 恵津子  |
| 件名  | 広域連携の中での鳥獣被害対策は |      |    |  |
| 要 旨   |                 |      |    |  |
| <p>令和元年9月に鳥獣被害対策について一般質問した中で、広域連携によりジビエ処理加工施設建設の検討が進められていると答弁されたが、現在の取り組み状況等について伺う。</p> <p>1. 国では令和5年までにイノシシやシカの個体を半減するという計画を進めている。鳥獣被害対策実施隊の協力により当町では年間概ね1000頭が捕獲処分されているが、この状況は適正頭数に対してどうなのか。過去に長野県への視察で、農家や猟友会等の方が、獣害が減ったと感じなければ頭数の減少につながっていないと聞いている。町としてはどのように把握しているか。</p> <p>2. 現状はイノシシやシカが人家近くにも出没しており、農業被害や住民にも危険がおよぶ可能性が懸念されていることから松田町を中心に広域で検討が進められているジビエ処理加工施設を含め、鳥獣被害対策を見直すべきと考え質問する。</p> <p>(1)ジビエ処理加工施設の規模や運営、財政負担等についての検討内容は。</p> <p>(2)ジビエ処理加工施設との連携がないとジビエカーは配置できず、過去に導入できなかった。山が広範囲の当町にとっては搬入の時間制限をクリアするために、ジビエカーを活用すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)ジビエ処理加工施設の整備により、ジビエ料理という新たな食の提供ができるかと考えるが、地域の活性化のため支援する計画はあるか。</p> <p>(4)イノシシ、シカについて、県の地域ぐるみの3つの基本対策①集落環境整備②被害防護対策③鳥獣の捕獲の更なる充実のため、財政、人的な支援を県に対し要望すべきではないか。</p> |                 |      |    |  |
| 以上  |                 |      |    |  |